

地域医療支援センターだより

センター長の一言



能登地域の医療をお支えいただいているご施設の皆様、いつも変わらずお世話になり誠にありがとうございます。

本年度設置された院内臨床倫理委員会に、地域医療支援センターから多くのスタッフが参画することになりました。初回の会議が7月18日に開かれましたが、多くの部署から様々な職種が参加する委員会で、当センターが大きな役割を担うことが期待されます。早速8月13日には、南砺市民病院の臨床倫理研修会に参加し見聞を広めて参りました。

また、7月30日に開かれたBSC大会では、2名のソーシャルワーカーが、今後積極的に取り組む新しい試みについて熱く語りました。彼女らの「心のこもった思い」を今回のお知らせで感じ取っていただければ幸いです。

この「センターだより」では今後も、当センターだけでなく、職種を問わず多くのスタッフの活躍をお知らせしたいと思っております。能登総合病院に、今後とも熱いご支援、ご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

認知症でお困りの方は **能登認知症疾患医療センター**へ

平成29年4月1日から、当院の精神センター内に「能登認知症疾患医療センター」が石川県から指定を受け開設しています。

それまでは「もの忘れ外来」にて認知症に関する診療を行ってききましたが、認知症でお困りの方は、当院の「能登認知症疾患医療センター」へご紹介ください！

■ 認知症が疑われる患者紹介

能登認知症疾患医療センター宛に紹介



- ★診療情報提供書 250点
- +
- ★認知症専門医紹介加算 100点  
(鑑別診断が必要であると判断した場合)



■ 認知症の診断

認知症療養計画書の作成と説明



- ★認知症専門診断管理料 1 700点  
(診療情報提供料は含まれる)
- 紹介に基づき
  - ・鑑別診断
  - ・療養方針の決定
  - ・療養計画書の作成および本人・家族への説明と紹介元への報告をした場合

- ★認知症療養指導料 350点  
(特定疾患療養管理料は別に算定できない)
- 認知症療養計画書に基づき経過報告した場合



■ 認知症の症状増悪時の紹介



- ★診療情報提供書 250点
- +
- ★認知症専門医療機関連携加算 50点  
(症状の増悪、療養方針の再検討を要する状態になった時、紹介した場合)

- ★認知症専門診断管理料 2 300点  
(診療情報提供料は含まれる)
- 認知症の増悪時紹介に基づき、療養計画書の作成、本人・家族への説明と紹介元への報告を行った場合



紹介の流れと診療報酬

# 地域医療支援センターからのお知らせ

## 診療情報提供書等のFAX送付先について

当院へ診療情報提供書等をFAXで送っていただく際には、全時間帯において**地域連携系のFAX番号**にお送りください。

平日の時間外や休日の場合でも救急外来に転送が行われ対応します。

**地域連携系のFAX番号:0767-52-8772**



## おくすり手帳の持参について

当院を受診する際には、出来るだけおくすり手帳を持参するようお願いします。

検査や手術を行う前に現在処方されている薬を確認する必要があり、確認のために待ち時間が発生するため、おくすり手帳の持参にご協力をお願いします。



## 病理専門の医師が新たに常勤となりました。

7月より、病理医の佐藤勝明医師が当院の常勤医となりました。

全国的にも病理医が常勤の施設は少なく、当院に常勤となることで病変の診断がこれまで以上に迅速となり、治療が早く行えるようになります。

手術中の術中迅速診断により、適切な手術範囲や手術方法の決定が可能となり、患者さまに最適な治療を提供することができます。

病理医と直接コミュニケーションをとり病理学的な意見を聞くことができ、より良い治療方針の決定が可能となります。佐藤医師は、日本臨床細胞学会から細胞診専門医の認定も受けており、今後は当院の一員として、能登全域の住民の健康を守る大きな役割を果たしていただきます。



## 南砺市民病院へ視察見学

南砺市民病院に視察見学に行きました。

今年度、院内で臨床倫理委員会を立ち上げ、日頃の医療倫理について病院全体で考えられる体制に取り組んでいます。8月13日に臨床倫理委員会メンバーで南砺市民病院を視察見学し、「倫理コンサルテーションの講義と実習」について、一緒に学びました。

## BSC発表大会開催！

**BSC(バランススコアカード)って??**

当院では、院内全体が同じ目標に向かって取り組み、経営状況の改善や医療・ケアの質を向上させることを目的に、BSCを活用した経営手法を導入しています。病院全体のBSC目標に合わせて、各部署でもBSCを作成し、年に1回BSC発表大会を開催しています。

**医療福祉相談係(ソーシャルワーカー)が発表！**

今回は医療福祉相談係から「患者満足度の向上を目指すー退院調整編ー」

「倫理の種を蒔こうー患者満足度の向上の為にー」と題して

日頃のソーシャルワークを通じて感じたことやこれから病院全体で取り組んでいきたいことを発表しました。退院調整に直接つながる内容や、医療現場・臨床現場でのもやもやを倫理的に考えられる組織づくりに取り組んでいきたいという意気込みで院内職員に向けてその思いを伝えました。



7月14日に行われた七尾港祭りの総踊りに参加してきました。地域医療支援センターからは、写真右から島田看護師、藤井MSW、高名MSW、細川地域連携事務の4人が参加しました。能登病院のアピールのため、そして七尾市を盛り上げるために、他の参加者と共に御祓川沿いを踊り流しました。